

岡山トヨペット スペシャル

指揮 佐渡裕 ピアノ 反田恭平

日本センチュリー交響楽団

最強のコンビで聴く
驚愕の名作プログラム

ラフマニノフ : ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 作品30

ドヴォルザーク : 交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

©Takashi Iijima

2019年 2月28日(木) 18:30開演(17:45開場)
岡山シンフォニーホール 大ホール

チケット発売日 10月19日(金)

全席指定(税込) S席 9,000円 A席 7,500円 B席 5,500円
(8,500円) (7,000円) (5,000円)

※()内は音協会員料金です。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車イス席をご希望のお客様は岡山音協までお問い合わせください。

※曲目・曲順は変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

プレイガイド

- 岡山音協
- 岡山シンフォニーホールセンター
- ぎんざや
- 山陽新聞社サービスセンター
- インディスク(倉敷天満屋4階)
- チケットぴあ(Pコード:128-128)
- ローソンチケット(Lコード:63465)

主催:岡山音協/RSK山陽放送/岡山シンフォニーホール
企画・制作:クリスタル・アーツ

お問い合わせ:岡山音協 (086)224-6066 ※営業時間:平日9時~17時

岡山市北区蕃山町1番20号 岡山県開発公社ビル1階 ※2018年10月1日より左記新事務所に移転しました。

◆チケットのお支払いは郵便振替でもご利用いただけます。(振込先番号 01200-4-11083)

特別協賛

岡山トヨペット

佐渡裕指揮 日本センチュリー交響楽団 with 反田恭平

佐渡裕と大阪センチュリー交響楽団（現・日本センチュリー交響楽団）は関西のクラシックファンにはお馴染みのコンビ。佐渡裕が日本デビュー後初めて「首席客演指揮者」（1994年～97年）の大任を得たのがセンチュリー響で、両者は1993年から18年間、「世界最高の響き」と評されるザ・シンフォニーホール（大阪）で「21世紀への第九」を始めとする人気コンサートで共演を続けてきました。佐渡にとっては修行時代から幾度も指揮台に立ち、今も相互に厚い信頼で結ばれています。

そして、本ツアーのソリストには、デビュー後、瞬く間に音楽界の最前線に躍り出た大人気ピアニスト反田恭平が登場します。反田にとってラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」は、2012年、高校3年生で日本音楽コンクール優勝の栄冠をつかんだ、まさに運命の一曲！2017年に行われた佐渡裕と反田恭平コンビによる全国12公演のツアーは初共演にもかかわらず、各地でスタンディング・オベーションが起こり、大変な盛り上がりとなりました。まさに今が旬！スターピアニストの華やかな舞台をお楽しみください。

指揮 佐渡裕 Yutaka Sado

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。

これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン WDR 交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、北ドイツ放送交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015年9月より、オーストリアを代表し110年の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督に就任し、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。

オペラ公演でも海外での実績を重ねており、＜オランジュ音楽祭＞「蝶々夫人」（演奏：スイス・ロマン管弦楽団）、トリノ王立歌劇場での「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」などを指揮。

国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した8枚目のCD「ショスタコーヴィチ：交響曲第5番」を2018年5月に発売。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫/新書)など。

オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp/>

ピアノ 反田恭平 Kyohei Sorita

1994年生まれ。2012年高校在学中に、第81回日本音楽コンクール第1位入賞。併せて聴衆賞を受賞。2014年チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院に首席で入学。2015年イタリアで行われている「チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲コンクール」古典派部門で優勝。年末には「ロシア国際音楽祭」にてマリンスキー劇場デビューを果たす。2016年のデビュー・リサイタルは、サントリーホール2000席が完売し、圧倒的な演奏で観客を惹きつけた。また8月の3夜連続コンサートをすべて違うプログラムで行い追加公演も含み、新人ながら3,000人を超える動員を実現する。2017年には初のオーケストラツアーおよびリサイタル・ツアーを全公演完売させている。デビューから3年、コンサートのみならず「題名のない音楽会」「情熱大陸」等メディアでも多数取り上げられるなど、今、もっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。

現在、ショパン音楽大学（旧ワルシャワ音楽院）にてピオトル・パレチニに師事。また、TVアニメ「ピアノの森」に阿字野壮介のメインピアニストとして参加している。

CD：「リスト」、「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲&パガニーニの主題による狂詩曲」、「月の光」、「悲愴／月光／熱情」
2017年「第27回出光音楽賞」受賞、CDショップ大賞「クラシック賞」受賞。

オフィシャル・ホームページ：<http://soritakyohei.com/>

日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者を務め、多彩な活動を行っている。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」を展開中のいずみ定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」（豊中市）、「ルシオール街かどコンサート」（滋賀県守山市）等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。

オフィシャル・ホームページ：<http://www.century-orchestra.jp/>

岡山トヨペット
「この街をもっと。」
おかやま応援団

